



Make a better place

+PLUS

2015年 2月講座

赤坂コミュニティカレッジ

参加費無料

無化学合成農薬・無化学肥料の野菜作りを推進する大分県臼杵市は、2010年に草木8割、豚糞2割を主原料とした完熟堆肥を製造する「臼杵市土づくりセンター」を開設。慣行農業から有機農業に転換する生産者や、あたらしく農業をはじめめる市民が現れる。

全国でもはじめての試みに試行錯誤しながらも、臼杵市と市民たちが前へ向かってゆく姿を通し、現代の「食」にとって何がほんとうに大切かを考える、大林千茱萸監督のドキュメンタリー映画「100年ごはん」、「ワタシ」から「アナタ」へ宛てたメッセージをお楽しみください。



大林 千茱萸 監督作品

過去を生きる、生きとし生けるものたち。
 いまを生きる、生きとし生けるものたち。
 未来を生きる、生きとし生けるものたち。
 繋がり返る命の道筋を紡ぐ人人の群像劇。
 「100年単位の仕事」に携わる人人の物語。

2月のテーマ 「食」		
2月 25日(水) 18:30-20:30	ACC-502	100年ごはん ～ 100年単位の仕事に携わる ～ 講師:大林 千茱萸 氏

会 場：プラス株式会社ショールーム「+PLUS」
 千代田区永田町2-13-5赤坂エイトワンビル1F
 電 話：03-5860-2350（赤坂見附駅徒歩3分）
 参加費：無料
 定 員：30名（先着順）
 申込方法：裏面記載
 主 催：プラス株式会社 +PLUS



+PLUS

【講師プロフィール】

○大林 千葉萁(おおばやし ちぐみ) 映画監督、



<経歴>

東京都生まれ。「天皇の料理番」元宮内庁東宮御所大膳課主厨・渡辺誠氏に師事し、料理家としても活躍。西洋食作法講師・ホットサンド倶楽部主催と様々な肩書きを持つ。11歳で『ハウス／HOUSE』(77)原案。14歳より映画感想家として、文筆業開始。大林宣彦監督作品では、メイキングや音楽コーディネーターなどを担当。AKB48の「So long!」(13)MVでは数エピソードの脚本・演出を行う。うえだ城下町映画祭自主制作映画コンテストでは審査員を務める。

本作が単独監督初デビュー作品となる。著者に「ホットサンドレシピ100」(シンコーミュージック刊)、責任編集本には「リュック・ベッソン」(キネマ旬報社刊)など。

☆講座のお申込み方法について

お申込み方法はプラス株式会社のホームページ、ないしは+PLUSのFacebookに赤坂コミュニティカレッジ2月講座のお知らせが掲載されますので、そのサイトからお申し込みください。

プラス株式会社 ショールーム「+PLUS」 担当:伊東 純一

〒100-014 東京都千代田区永田町2-13-5赤坂エイトワンビル1F TEL.03-5860-2350

www.plus.co.jp/showroom

www.facebook.com/plus.showroom